

第 37 回腫瘍・免疫核医学研究会プログラム

11月6日(土) 国立京都国際会館 Room C1 13:20~16:25

- ◆会 長：榎林 勇 (大阪医科大学放射線科)
- 世話人会 12:00~13:00 Room 103
- 開会の挨拶 13:20~13:25
- 講演 13:25~16:15

司会：阪原 晴海 (浜松医科大学放射線科)

13:25-14:05

1. 医療におけるモノクローナル抗体の応用について - 最近の動向 -
中村佳代子 (慶應義塾大学放射線科)

14:05-14:35

2. 遺伝子発現イメージングの現況と腫瘍イメージングへの可能性
古川 高子 (福井大学・高エネルギー医学研究センター)

司会：横山 邦彦 (金沢大学核医学診療科)

14:35-14:55

3. C-11 酢酸による腫瘍診断の可能性と限界
塚本江利子 (医療法人禎心会セントラルCIクリニック)

14:55-15:15

4. 第51回米国核医学会 (SNM) 報告
本田 憲業 (埼玉医科大学総合医療センター放射線科)

司会：榎林 勇 (大阪医科大学放射線科)

15:15-15:55

5. 肺癌のFDG-PETについて
原 眞咲 (名古屋市立大学中央放射線部)

司会：久保 敦司 (慶應義塾大学放射線科)

15:55-16:15

6. 甲状腺癌の¹³¹I大量療法における長期経過観察のデータ解析中間報告
日下部きよ子 (東京女子医科大学放射線科)

- 次期会長挨拶 16:15~16:20
- 閉会の挨拶 16:20~16:25